

インドの2025年1-3月期GDP

投資加速などが寄与し、市場予想を大きく上回る7.4%増

2025年6月2日

好調な経済指標、GDPの日本超え目前で、高成長のシンボルとして注目

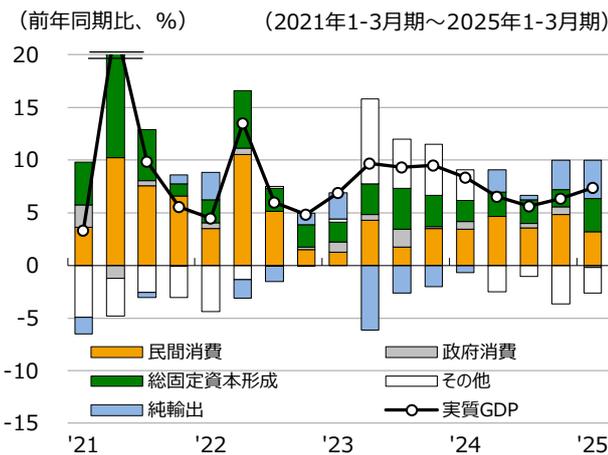
インド統計・計画実施省が、5月30日に公表した2025年1-3月期の実質GDP成長率は前年同期比+7.4%と、24年10-12月期の+6.4%（+6.2%から改訂）から加速し、市場予想の+6.8%をも大きく上回りました。同時に発表された2024/25年度（24年4月～25年3月）の実質GDP成長率は前年度比+6.5%となり、2023/24年度の同+9.2%から鈍化したものの、依然として中国を上回る高成長を記録しました。

2025年1-3月期成長率の需要項目別の寄与度をみると【図1】、総固定資本形成が前年同期比+9.4%と、10-12期の同+5.2%から顕著に加速し、6四半期ぶりの高水準を記録しました。総選挙の影響で24年7-9月期に政府支出が一時的に減速し、その影響が10-12月期に建設活動の一時停滞として現れましたが、10-12月以降は政府支出の増加を受け、建設活動の活発化に繋がっています。その他、純輸出のGDPへの寄与度の拡大、供給側の製造業の加速なども確認されました。

一方、消費は足踏み状態にありますが、年後半に消費拡大が加速すると予測します。2月以降の利下げの効果や4月からの所得税減税策の実行などで、「利下げ」と「減税」の両面による消費促進が期待されます。また、今年はモンスーン（雨季）前線の北上が平年より著しく早いことも好材料です。インフレ抑制や可処分所得の増加などへの期待を高め、当社は2025/26年度の+7%前後の高成長継続を見込みます。

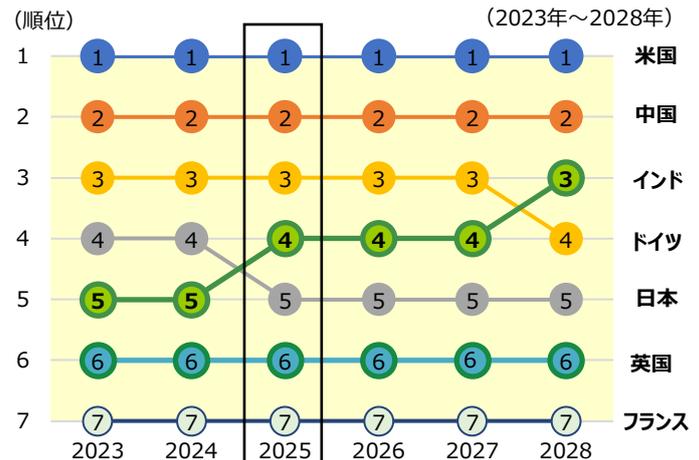
2025年4月に発表されたIMFの世界経済見通しによると、インドが名目GDPで日本を超え、世界4位の経済大国になるのが2026年から2025年に早まる予定です【図2】。好調なGDPの発表も相まって、インドは高成長の象徴であり続ける存在として注目され、インド株式市場の追い風になると考えられます。

図1 実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移



(出所) インド統計・計画実施省より大和アセット作成

図2 IMFの名目GDPランキング見通し



※IMF世界経済見通し2025年4月号

(出所) IMFより大和アセット作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。